



月刊

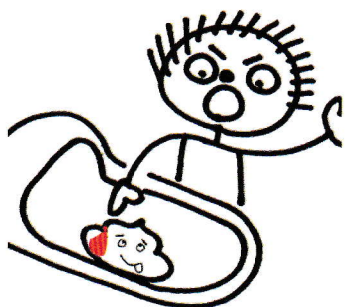
検診のチカラ

2025

10

かかりつけ医から患者へ、命を守る一言を

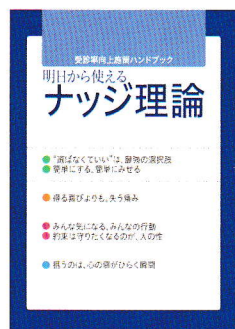
2号



10月に入り、ようやく秋らしくなってきました。

先日、70歳代の男性が「2か月前から便秘気味で、2週間ほど前から便に血液が混じるようになった」という主訴で受診されました。直腸診で腫瘍が触知され、内視鏡検査を行ったところ、進行直腸癌と診断されました。この方は長年、高血圧や脂質異常症のため近隣のクリニックに通院していましたが、大腸がん検診はこれまで受けたことがありませんでした。定期的に受診しているにもかかわらず、進行した状態での発見となってしまいました。かかりつけの患者には、症状がなくても年に1回の大腸がん検診をお勧めすることが重要です。

お役立ち情報



「そっと背中を押す」

ナッジ理論は、強制や罰則を使わずに、人々が望ましい行動を自然に選ぶよう促す手法です。大腸がん検診では「痛みは全くない」「費用が300円」といった簡便性・安さの提示が、そっと背中を押すのに有効です。

ナッジ理論に関する
厚労省発行のハンドブック
←こちらから入手可能です

数字でみる大腸がん検診

53,000人
年間大腸がん死亡者数

2023年の厚生労働省の統計によると、大腸がんによる死亡者数は53,131人で、前年よりも増加しています。

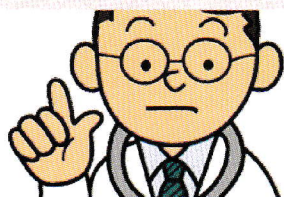
これは、1日あたり約145人、つまり約10分ごとに1人が亡くなっているという計算になります。がんによる死亡順位は、女性では1位、男性では3位、男女合計では2位となっています。検診によって予防可能であるにもかかわらず、非常に残念な状況だと感じませんか？

語りかけ例文

患者さんに合わせて切り口を工夫

検査の「簡便さ」を強調

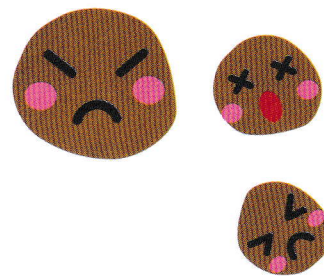
大腸がん検診は、便を採るだけの簡単な検査です。痛みもなく、短時間で済みます。結果が陰性であれば安心できますし、陽性でも早期発見につながります。手間や負担はほとんどありませんので、気軽に受けてみてください。



ワンポイント

下痢やコロコロした便でも検査できますか？

基本的には、どのような便の状態でも問題なく検査が可能です。ただし、検査に必要な量が十分でない場合は、検査ができないことがあります。



軟らかい便の場合は、スティックでよくかき混ぜて採取してください。硬いコロコロ便の場合は、表面に少し水をつけて柔らかくし、スティックの溝に付着させるようにしてください。



浜松市医師会 大腸がん検診委員会

一般社団法人 浜松市医師会

〒430-0935 静岡県浜松市中央区伝馬町311-2

☎ 053-452-0424